

Audio Technology

車室内とはまさに、世の中で最も小さく制約の多いリスニングルームといえる。
ライブ会場の空気感。確かなアーティストの実在感。楽曲の微妙なニュアンス。
これらの音を、限られた空間の中でいかに描ききれるか。
アゼストエンジニアの挑戦心はさまざまな独創技術を誕生させ、この課題に着実な成果で応えています。

最新の音質・音場解析技術を集約

ACプロセッサー Ⅲ

AC-Processor Ⅲ



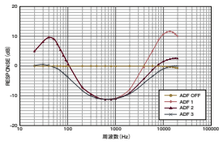


原音の持つ音のニュアンスはそのままに、高域・低域を高音質に補正できる「アンチディストーションフィルター」や、2chソースを5.1ch化して再生できる「ドルビープロロジックⅡ」。車室内の音響環境を理想的に補正する「VSE」。さらには、好みに合わせた音響調整、音質調整が行える「タイムアライメント」「パラメトリックEQ」など、最新の音質・音場解析技術を集約させた、アゼスト独自の最先端デジタル・サウンド・プロセッサーです。

原音に忠実なまま高・低域を補正

アンチディストーションフィルター

Anti Distortion Filter

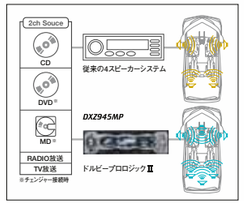


車室内のリスニング環境ではロードノイズや風切り音、シートによる吸音といった、室内外のさまざまな要因によって、特に高音/低音域の周波数が聴き取りづらくなる傾向があります。改善の方法としては、トーンコントロールやラウドネス機能などを使用するのが一般的ですが、これらはオリジナル音源の周波数とは異なる位相で高低域を強調するため、いわゆる「位相相互変調歪」が生じ、音のこもりや濁りを招いていたことも事実です。これに対し、アンチディストーションフィルターでは、周波数のピークポイントを一切変えることなく、原音が持つ周波数の位相に応じて高音域/低音域を補正・強調し、音響回路特有の不自然な音の味つけやそれに伴う音の歪みを排除。車室内に埋もれた臨場感成分を引き出す臨場感強調フィルターと、低音域の飽和歪みを自動制御する過強調音補正技術により、アーティストが意図した音のニュアンスはそのままに、高～低音の全域をクリアかつメリハリある音色で再現できます。なお、組み合わせるスピーカー(純正/セパレート/コアキシャル)に合わせて切り換え可能な、3タイプのモードを装備しています。

あらゆる2chソースを5.1chサウンドへ

ドルビープロロジック Ⅱ

DOLBY PRO LOGIC Ⅱ

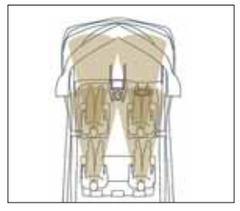


「ドルビープロロジックⅡ」は、あらゆる2chステレオ音声を5.1chサラウンドサウンドで再生できる、ドルビー社のマトリックスサラウンドデコード技術。カーオーディオの5.1ch化が進む中、大きな注目を浴びるテクノロジーです。真に迫る臨場感を満喫できるミュージックモード、ラジオ放送の再生に適したマトリックスモードのほか、センタースピーカー出力をフロント左右に振り分ける機能や、ディメンションモード、パノラマモードといった特殊効果も備えます。

全座席で自然な前方定位を実現

バーチャルスペースエンハンサー

Virtual Space Enhancer

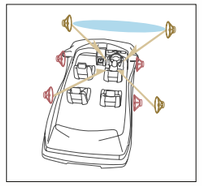


車室内に発生しやすい音の乱反射(定在波)や、音の偏りなどを自動補正し、理想の音響環境を創り出すアゼスト独自のシステム。低音域の定在波は、逆位相の音を発生させることで相殺。中高域の位相や特なども車幅を基準に自動調整し、左右座席間のステレオ感の偏りを補正。さらには、スピーカーの前後位置の音像定位の偏りも、デジタル処理技術で解消するなど、全座席で自然な前方定位を実現させます。

視聴席に応じた音響効果補正が自在

タイムアライメントコントロール

Time Alignment Control



フロント左・フロント右・フロント・リア・フルシートなど、どの視聴ポジションに座っても各スピーカーから同じ音響効果が得られるよう、スピーカーの音響効果を素早く補正できます。調整内容は5パターンまで記録でき、乗車人数に合わせた音響効果もすぐに呼び出せます。

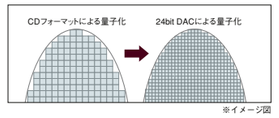
きめ細やかでリアルな音でCD再生

24bit D/Aコンバータ

24bit DAC



CDに収録されたデジタルデータを、高精度なアナログ信号に変換できる、24bit D/Aコンバータ。ハイビットならではのきめ細やかなD/A変換により、音楽ソースの微妙なニュアンスまでも忠実に再現できます。



※イメージ図

音質劣化要因となるディスプレイノイズを排除

ディスプレイOFF

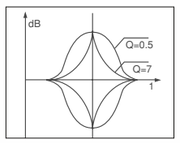
Display Off

CDやMDなどの再生時に、トラック数や曲目といったディスプレイ表示を完全にシャットダウンできる、ディスプレイOFF。ディスプレイ蛍光管から発生する電源ノイズの影響を排除できるため、より透明感のあるピュアなサウンドクオリティを得ることが可能です。

車室内の音響特性を効果的に補正

パラメトリックイコライザー

Parametric EQ



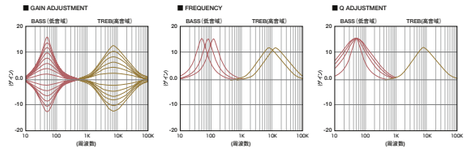
中心周波数(fo)のポジションやレベル、イコライジングカーブの緩急などをきめ細やかに設定できる、パラメトリックイコライザーです。車室内の音響特性を効果的に補正でき、車種や好みの音楽に合わせた最適な音質が得られます。

音の張りや立ち上がりの調整も自在

Zエンハンサー プラス

Z-ENHANCER PLUS

Type1/2/3の3パターンの中から、好みの音質パターンを選択できる、Zエンハンサープラス。さらに、各パターンのゲイン、Q、周波数を自在に設定できる2バンドのパラメトリックイコライザー機能を備え、各音域の張りや立ち上がりの調整といった、より細やかな音質コントロールを可能にしています。



リアリティあふれる臨場感を擬似的に創出

DSP(5モード)

Digital Sound Processor

曲の雰囲気や気分に合わせて、STADIUM・HALL・CLUB・CHURCH・L-ROOMの5パターンの臨場感が楽しめる、デジタルサウンドプロセッサー機能。高精度なデジタル処理技術により、まるで、そのシーンに居合わせるかのようなリアリティを体感できます。



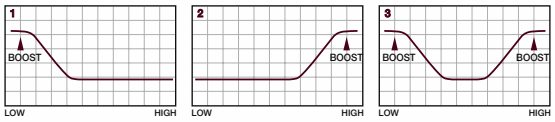
Audio Technology



3つの効果的な音質パターンをプリセット

Zエンハンサー
Z-ENHANCER

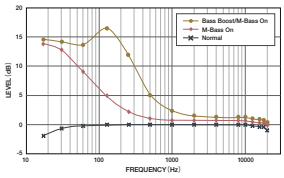
BASS/TREBLEをそれぞれ強調する3つのイコライジングパターンを用意。好みのサウンドを容易に選択できます。また、トーンコントロールと組み合わせれば、新たな音質づくりも楽しめます。



いつでも快適に迫力の重低音再生

マグナベース EX
Magna Bass EX

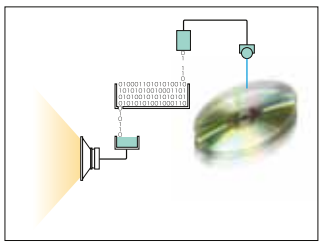
ロードノイズにかき消されて聴こえにくくなる、50Hz付近の超低音域をブーストする機能です。ボリュームレベルに連動して大音量時は弱く、小音量時には強くブーストがかかるため、いつでも快適に迫力の重低音を堪能できます。



不快なディスク再生時の音飛びをガード

ショックプルーフメモリー
Shock Proof Memory

悪路走行時などに生じる不快な音飛びをガードする、ショックプルーフメモリー。MP3/WMAファイル再生時で約20秒分と、余裕あるメモリー容量を確保しています。



高音質なシステム拡張をサポート

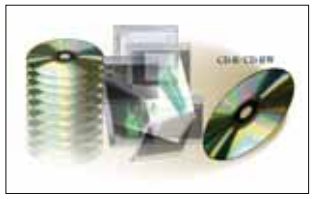
ハイパス/ローパスフィルター
High Pass/Low Pass Filter

周波数可変のハイパス/ローパスフィルター。不要な音域をカットし、それぞれのスピーカー特性に応じた音のみを伝えるため、5.1chシステムやマルチアンプシステムへの拡張時でも、濁りがなく、音のつながりに優れた音響環境を創造できます。

MP3/WMAのプレイリスト再生が可能

WMA/プレイリスト
Play List

MP3の約2倍におよぶ高圧縮ながら、CDに匹敵する高音質再生が楽しめるWMA(Windows Media™ Audio)ファイルの再生が可能。さらに、CD-R/RWディスクに保存したWMAファイルを、パソコンやマルチメディアプレーヤーで編集した好みの順序で再生できる、プレイリスト再生にも対応しています。



自作のオリジナルディスクを再生できる

CD-R/RW

いまや一般的なメディアとなった、CD-R/RWディスクの再生が可能です。パソコンやホーム用CDレコーダーで製作したオリジナルディスクが車内で存分に楽しめます。

最大4倍長のMDロングプレイ&Net MD再生に対応

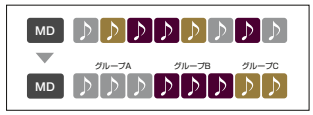
MDLP/Net MD

MDに記録する音声データの圧縮率を高め、記録可能時間を最大4倍にまで拡張できる記録フォーマット「MDLP」に対応しています。収録時間が同じ80分のMDでも、録音方式が2倍モードなら最長160分(2時間40分)、4倍モードなら最長320分(5時間20分)におよぶステレオ再生が可能。長距離ドライブ時のロングプレイにも便利です。また、Net MD対応モデルでは、Net MDフォーマット対応機器で作成したMDの再生が可能です。

快適・スピーディな曲名検索を実現

MD グループサーチ・ファンクション
MD Group Search Function

MDディスクに記録された曲を、アルバムごと、アーティスト別といったグループ単位で効率的に検索できる便利な機能です。MDLPモードを利用するなど、1枚のディスクにたくさんのナンバーを長時間録音している場合でも、聴きたい曲を快適・スピーディに呼び出せます。



※連続していないトラックは、同一グループにできません。ただし、NON GROUPは別です。